

岐阜県立東濃高等学校

学 校 長 平井 学

学校住所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1

0574-67-2136 fax0574-67-6204

ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

- 1 会議の名称 平成28年度 第1回学校評議員会 (岐阜県立東濃高等学校)
- 2 会議の構成

委 員	渡邊 剛	御嵩町ボランティア「輝き隊」代表
	藤井 真弓	主婦
	平井 繁幸	御嵩町中央公民館厚生員、小高会長
	鍵谷 欣弘	東海化成工業株式会社人事総務部課長
	嶋崎 友美	東濃高等学校 PTA 会長
学校関係者	平井 学	校 長
	片山 澄美	教 頭
	今井 昭弘	教 頭
	井藤 勝夫	教務部長
	吉田 益穂	進路指導主事
- 3 会議の目的 本校の教育活動について各委員に提言及び助言を求め、もって今後の学校運営の参考とするなど、本校教育の発展に資することを目的とする。
- 4 会議の開催 平成28年5月24日(火) 13:30~15:00
岐阜県立東濃高等学校 会議室
委員4名と学校関係者5名出席
- 5 会議の概要 ①学校評議委員委嘱状授与
②平成28年度学校教育指導の方針と重点についての説明
③意見交流

会議資料

- (1) 会議レジュメ
- (2) 平成28年度学校教育指導の重点
- (3) 平成28年度「魅力ある高校づくり推進事業
- (4) 演劇表現ワークショップに関するアンケート
- (5) 岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会(審議のまとめ抜粋資料)

学校側より説明

- ① 平成 28 年度教育指導の方針と重点について
- ② 平成 28 年度各指導部の重点について
- ③ 岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会審議まとめの資料より説明

評議員から見た学校

意見 1

会社が望むことは、東濃高校から就職してくれた生徒が最後までやめなくて勤めてくれること。また、外国人の多くが期間社員として働いていて、準社員から正社員になれるよう努力をしています。だから、日本語、英語の両方ができる生徒は会社としてもありがたい。

回答 1

日本語の読み書きができて、日本語以外の言語が話せる外国籍生徒は企業にとって戦力である。昨年度から各学年に国際クラスを 1 クラスずつ作り、学校設定教科「日本語」を 1 年次には週 4 時間、2 年次には週 3 時間、3 年次には週 3 時間受講させている。成果を期待して欲しい。

意見 2

他校のことだが、私の娘が高校生の時、普通クラスは 35 人で、選抜クラスには 45 人の生徒がいてびっくりした。各学校の定員からもクラス編成を考えてほしいと思う。

回答 2

本校は 3 クラス規模ながら 5 クラスで手厚く少人数で指導している。最大でも 29 人。単位制の授業なので、開講している授業については、さらに少人数で展開している。

意見 3

娘が本校を選んだ理由の一つは、制服がかわいいからでした。また、もう一つの大きな理由は、数学が苦手で、その学び直しができること。娘は東濃高校でよかったと喜んでいます。

回答 3

本校に来た生徒が、人数が少ない故に先生方やクラスメートと距離が近くなり、コミュニケーションをうまく取れるようになっていく。多くの生徒が本校に来て良かったと感じており、本校がなくてはならないという有用感を感じる。

意見 4

積極的な情報発信に努めてほしい。また、1 年生の演劇表現ワークショップやキャリア教育プログラムの指導も重要なので、継続して指導して欲しい。

回答 4

演劇表現ワークショップは、今年度から県のリーディングプランが打ち切られたため、PTA主催で、御嵩町と岐阜県国際交流センターの補助を頂き、1 回目を開催した。クラス作りのエンカウンターとしてうまく機能し、1 年生が落ち着いてスタートが切れた大きな要因となっている。また、キャリア教育についても、2 月 6 日に発表会を開き、評議員の方からも意見を頂く予定でいます。